

子どもも大人でも自分で選び・行動する大切さを実感

酒井いづみ

★一人の人間として

研修に参加しようと思った時は、主に保育施設を重点に置いて学びたいと思っていましたが、デンマークの福祉についての取り組みやデンマークの人間像「自分で物事を考え、判断できる自立した人間」を学んでいく中で、デンマークの保育は高齢者施設等にもつながっているということを学び、実際に施設の利用者に関わる機会をつくっていただき、子どもでも大人でも一人の人間として自分で選び・行動する大切さを実感しました。

★眼の輝き

印象に残っていることは、障がい者トレーニングセンターでは、利用者の方々が生き生きとしていて表情が明るかったことです。一人ひとりが自分に合った目的を持ち、行動をしているのだと感じました。



★自分で考える授業内容

小学校では、低年齢の子どもたちが話し合っ



どもたちが円になって向き合うと、一人ひとりが顔を合わせながら意見を述べていた時の表情がとても輝いでいて印象に残っています。デンマークが求める人間像が見えてきたように感じました。

★ゆっくり過ごす大切さ

私自身、今の日本の生活では、早歩きをしていて何か見逃しているモノがあるように感じました。時にはゆっくりと歩いて客観的に周りを見渡す余裕も必要だと思いました。

★心地よい刺激

今回参加された様々な職業・年齢・出身の方々と一緒に同じ時間を過ごし、話をしたことでとても良い刺激を受けました。研修に参加させていただき、ありがとうございました。